



2013年度 第6回 国際保健基礎講座

日時 : 2013年10月26日(土) 13:00 - 16:00(受付 12:30 - 12:50)

場所 : 国立国際医療研究センター 研修センター棟3階

国際医療協力局会議室

講師 : 国際医療協力局 医師 仲佐保

テーマ 『 ジェンダーをを考えてみよう! 』

※ 職員の方は名札をお持ちください。

参加ご希望の方は下記HPより登録をお願いいたします。

(応募多数の場合、早めに登録を締め切らせて頂く場合があります。ご了承ください。)

HP : <http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

〈講師紹介〉

仲佐 保(なかさたもつ)

国立国際医療研究センター国際医療協力局
国際派遣センター長 派遣協力第一課長

東京生まれ。

広島大学卒業、ジョンズホプキンス公衆衛生大学校にて公衆衛生士(MPH)。

国立病院医療センター(現NCGM)で、研修医、レジデントを修了し、外科医として手術や診療に携わる。

1981年の第8次カンボジア難民救援医療チームへの参加を皮切りに、ボリビア、パキスタン、ホンジュラスなどで、長期専門家、リーダーとして派遣。

現在は、多くの国で保健医療プロジェクト評価調査団員として活動し、国際協力を担う人材育成にも力を入れている。

エチオピア飢餓被災民援助
で活動する仲佐医師
(1985年)



国際協力を担っていく人材を育成するため、日本各地で講義を行っている。

〈講座紹介〉

あなたは南アジアに位置するA国に、女性支援のNGOの一員としてやってきました。A国の男性の平均寿命に対する女性の平均寿命は世界指折りの低さになっています。(日本が男性より女性の平均寿命が7年も長いのに対し、A国では女性の平均寿命は男性より半年しか長くありません。)

あなたが訪れたある村では伝統的な習慣により、保健医療に関する深刻な問題が起きていました。

保健医療問題が生じる伝統的な習慣とは？

ジェンダーに関する課題とは何でしょうか？あなたができることにはどんなことがあるのでしょうか？